

当院ではイムス東京葛飾総合病院倫理委員会で承認された下記の臨床研究に協力をしております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。なお、協力いただかない場合でも患者様に不利益は一切ございません。

研究課題名	塞栓性脳梗塞における超急性期血行再建術、経皮的脳血栓回収術の臨床成績向上と情報発信を目的としたデータベースの作成と活用
当院の研究責任者	イムス東京葛飾総合病院脳神経外科 井上 文
他の研究機関および各施設の 研究責任者	
本研究の目的	脳梗塞は寝たきりの原因となる最たる疾患であり、特に心原性脳塞栓症を含めた塞栓性脳梗塞は予後が悪い。近年、血栓溶解療法や経皮的脳血栓回収術が保険収載され予後の改善に寄与することが期待されている。特に経皮的脳血栓回収術は確立した治療法であるが、比較的歴史の浅い治療方法であり日々新規の治療方法、治療機器が開発されている。このような経皮的脳血栓回収術を含む超急性期血行再建術を行った症例の手術前後の画像やカルテ内の記載事項など各症例から得られたデータを、正確性と個人情報保護の観点において十分に配慮された方法で一括して管理することで、さらなる治療成績の向上や学術活動、ビッグデータへの参画等に貢献できるようにすることを目的とする。
調査データ該当期間	2017 年 5 月以降
研究の方法 (使用する試料等)	1)調査期間に経皮的脳血栓回収術を含む超急性期血行再建術を行った患者さんを対象に、症例数・年齢・入院時期・心房細動など原因となった疾患や動脈硬化の基礎疾患の有無、治療方法、経過などをデータ入力します。入力されたデータはパスワードをかけて保存します(生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人を特定するような情報は研究に用いません)。 2)本研究は診療録を用いた調査研究で術前に本人、または代諾者に対して書面により同意を得られた方を対象とします。 3)収集データはイムス東京葛飾総合病院で解析されます。 4)解析結果は、学術集会や学術誌および研究班報告書、厚生労働省の会議等で発表されます。
試料/情報の他の研究機関への 提供及び提供方法	各施設より取得する情報には患者さま個人が特定される情報は記載しません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さま個人を直接特定できる個人情報とは削除します。また患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究で要する費用は研究者の自己負担で実施されます。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：03（5670）9901、研究責任者：脳神経外科 井上 文